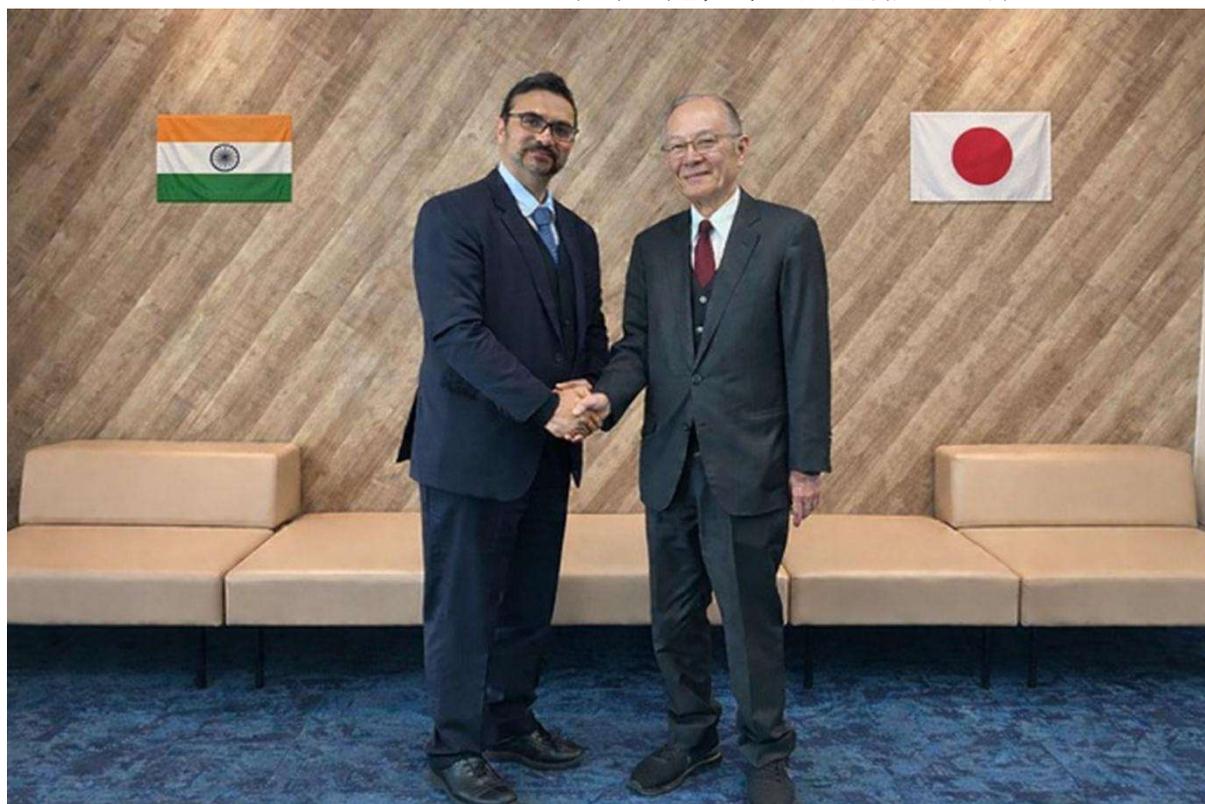


報道関係者各位

株式会社アイエム  
2026年2月20日

## アイエム、インド発グローバルIT企業の「フィデルテクノロジー」のグループ会社参画で経営刷新 スニル・クルカルニが社長就任、菊池廉也会長に



株式会社アイエム（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：菊池廉也、以下、アイエム）は、このたび、インド発のグローバルIT企業であるフィデルテクノロジー株式会社（日本本社：東京都千代田区、代表取締役：スニル・クルカルニ、以下、フィデルテクノロジー）のグループ会社となり、2026年2月20日より新たな経営体制へ移行したことをお知らせいたします。

新体制においては、これまで代表取締役社長を務めてきた菊池廉也が代表取締役会長に就任いたしました。また、日本のフィデルテクノロジー（株）の代表取締役及びインドのFidel Soft ech Pvt. Ltd.（インド市場に上場）のFounder C.E.Oであり、日本・米国およびインドを拠点に長年ITビジネスに携わってきたスニル・クルカルニ（Sunil Kulkarni）が、株式会社アイエムの代表取締役社長に就任いたしました。

### フィデルテクノロジーグループへの参画背景と今後について

近年、IT技術の進化とグローバル市場の重心は大きく変化しており、特にインドは、AI・IoT・クラウドセキュリティ分野を中心に、世界的な技術・人材の集積地として存在感を高めています。アイエムでは、こうした潮流を見据え、今後のITビジネスの中核を担う存在としてインドに注目してきました。

アイエムはこれまで菊池社長のリーダーシップのもと成長を続けてきましたが、将来を見据えた経営体制の継承と、次世代を担うリーダーを明確にして将来を見据えたグローバル化指向の新体制としました。

20年以上わたり公私共に交流を続け、強い信頼関係を築いてきた菊池社長とスニル・クルカルニ氏との連携を軸に、フィデルグループへの参入を決定しました。

(株)アイエムは新経営体制で、IT最先端技術を追求しつつ、日本とインドをつなぐ新たな成長フェーズへと進んで参ります。

## 新代表取締役社長 スニル・クルカルニの経歴とコメント



### 【経歴】

- 1994～1996年：エンジニア-コンピュータービジョン（米国社のインド支店）（インド・プネ）
- 1997～2000年：本田技研工業株式会社 宇都宮視点 SE派遣社員、伊藤忠テクノサイエンスソリューションズ株式会社SE 派遣社員として従事
- 2000～2001年：アジアネット株式会社 PMとして従事
- 2001年：フィデル・テクノロジーズ株式会社を設立
- 2004年：フィデル・ソフテック（インド）を設立
- 2006年：エフ・エス・イー株式会社を設立
- 2007年：フィデルコンサルティング株式会社を設立
- 2016年：LINGUASOLインド社を買収
- 2022年：フィデル・ソフテック・リミテッドの上場（NSEインド）
- 2024年：フィデルソフト米国を設立（テキサス州）
- 2026年：アイエム株式会社の代表取締役社長に就任

### 【就任にあたってのコメント】

これまで長年にわたり、日本のIT業界に多大なサポートをされてきた菊池会長に心より感謝します。日本とインド双方の強みー日本の品質・現場力・顧客志向、そしてインドの先端技術力・人材層・スピードを融合させることで、日本市場におけるDX推進をより加速させると共にインドに進出している日本企業をサポートしてまいります。

日本とインドは、経済・技術・人的交流において長年にわたり強固な友好関係を築いてきました。今回の取り組みを通じて、その架け橋としての役割を強化し、両国の発展を応援できる企業グループを目指してまいります。

アイエムの強みと伝統を大切にしながら、グローバル視点での成長戦略を推進し、お客様・パートナー・社員の皆様とともに新しい価値と安定した成長基盤を創造してまいります。

## 新代表取締役会長 菊池廉也の経歴とコメント



### 【経歴】

1965年より学業でコンピュータに携わり、1969年にコンピュータメーカー（米国系）に入社し、システム技術者（特に銀行システム）として18年、その後現PWCコンサルティング社に3年在籍しコンサルティング業（外国証券業、会社立ち上げ支援担当）を経験した。

その後（株）アイエム（旧アイエム）の常務・専務として勤め、日本の最大手通信会社の基幹システム開発を米国電話会社と行い、日本人代表としてのプロジェクトマネージャを担当。その後1993年3月新アイエム社（現）を再度立ち上げ、（株）アイエムを33年間代表取締役社長として経営し、2026年代表取締役会長に就任。

### 【就任にあたってのコメント】

株式会社アイエムの代表取締役として33年の間、色々な荒波の中、静かで楽しい波の中を歩んでこられた事、心暖かく卓越した技術者である社員とそのご家族、親切なお客様、そのほか多くの支援をしていただいた方々のお陰であることに深く感謝したいと思います。

また、この33年間は多くのコンピュータ新技術の出現と共に利用技術の変革がありました。ご存知のように過去コンピュータ技術の多くは米国発でありました。しかしその後中国（深川）の進化がありましたが、現在においてはインドの技術が突出していると認識できます。

今般、インド企業のグループへ参入することとなり、新技術に触れることが出来ることに大変エキサイトしています。

今までは経営の実務をやってきましたが、今後は新体制に依るグローバルで新技術追求を目指すアイエムを今までと異なる角度から凝視していきたいと思っています。

### 株式会社アイエムについて



大手SIer様やエンドユーザー様と連携しながら、金融・証券・通信・航空・公共インフラなど、社会を支える多様な分野でITソリューションを提供する技術集団です。

私たちは、画期的なITビジネスの実現において最も重要なのは「人の力」だと考えています。そのため、「人材＝人財」という考えのもと、やる気のある人が力を発揮できるよう、一人ひとりの個性を活かし、やりがいを持って成長できる環境づくりに注力しています。

会社名 : 株式会社アイエム

代表者 : スニル・クルカルニ

本社所在地 : 東京都豊島区南池袋1-13-23 JRE南池袋ビル 7F

設立日 : 平成5年3月

従業員数 : 82名（2026年2月時点）

URL : <https://www.imco.co.jp/>

### 【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社アイエム

広報担当 : 宮田

アドレス : im-pr\_planning@im-jp.com

TEL : 070-1186-9470